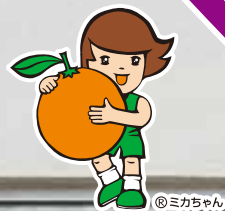


くみあいだより

KUMIAI DAYORI



©ミカちゃん

2025

6・7



国際協同組合年



特集1

令和6年度決算を振り返る

特集2

座談会は誰のため?私の意見は反映されるの?

特集3

楽しく、自分らしく、フレッシュミズ活動のすすめ
フレッシュミズ自主活動3グループが初の意見交換会

三ヶ日町農業協同組合



HP



LINE

くみあいだより

6・7月号 No.659 R7.7.11

発行/三ヶ日町農業協同組合
〒431-1497 静岡県浜松市浜名区三ヶ日町三ヶ日886
TEL (053) 525-1011 (代)

https://mikkabi.ja-shizuoka.or.jp
組合員数2,566人(正1,483人・准1,083人)
編集/広報センター ■制作・印刷/株式会社メディアアール

JAみっかび 検索



トウモロコシの豊作目指してスタート!
農青連×小学生×女性部で楽しく食農活動



町内4つの小学校の3年生児童80人、盟友35人、先生や女性部員など総勢約130人以上で食農活動に取り組む



この小さい種がトウモロコシになるの!?



児童が考えたピンポン玉リレーなどゲームで交流



プチミカンカップケーキは「おいしい!」と大好評



一粒ずつ丁寧に植えて、豊作を目指そう!

農青連では、長年にわたり食農教育活動に力を入れていきます。昨年から学校や地区の枠を超え、町内の小学生と一緒に食農活動をしていきます。5月29日に三ヶ日西小に集合した三ヶ日東小、尾奈小、平山小の3年生児童は合計約80人。盟友35人とおやつを差し入れた女性部員等を含め総勢130人を超える大プロジェクトのスタートです。

栽培するのは「イエローポップ」というポップコーン加工に適したトウモロコシ。4つの小学校の児童が交流できるよう混成班をつくり、盟友に教えてもらいながらトウモロコシの種を蒔きました。また、西小の児童が考えたゲームと一緒に行動など楽しい時間を過ごしました。女性部食育研究会からは青島ミカンを皮ごとピューレして生地に

練り込んだプチミカンカップケーキの差し入れもあり、おいしいおやつを食べながら仲良くなった班ごとに交流を深めました。児童からは「トウモロコシの種蒔きが楽しかった」「違う学校の子と仲良くなった。これからは仲良くしたい」「ミカンケーキがおいしかった」などの声が聞かれました。

藤原将司農青連委員長は「種から野菜を育て、成長の様子を見守ることで、食べ物のありがたさを感じ、農家や自然への感謝の気持ちを持ってくれたらうれしい。今後は9月に全員で収穫を行い、1月の農協祭でポップコーンを作り販売する予定。トウモロコシの栽培から加工、販売までを経験することで子供達が地域の人と交流し、つながりを深める活動にしたい」と話しました。

食農教育活動で地域とつながる
種まき、収穫、販売までを体験



令和6年度決算を振り返る

6月27日の第64回総代会で令和6年度事業報告と今年度の計画を含む全7議案が承認されました。詳細は「協同のあゆみ」に記載してありますので、その概要についてご報告申し上げます。



総代数371人 出席363人(本人出席222人、代理人出席4人、書面137人)全議案が承認された



挨拶する井口義朗組合長



祝辞を述べる中野祐介浜松市長



優良組織表彰：三ヶ日町柑橘出荷組合



優良団体表彰：JAみっかび女性部 ふれあいグループ



感謝状：東京青果株式会社



優績支部特別表彰：特別表彰(本坂)／肥料(西平、日比沢、平山、南平)／農業(大福寺、長根、津々崎、下尾奈)

令和7年度の専門委員会の構成

総務・金融共済委員会

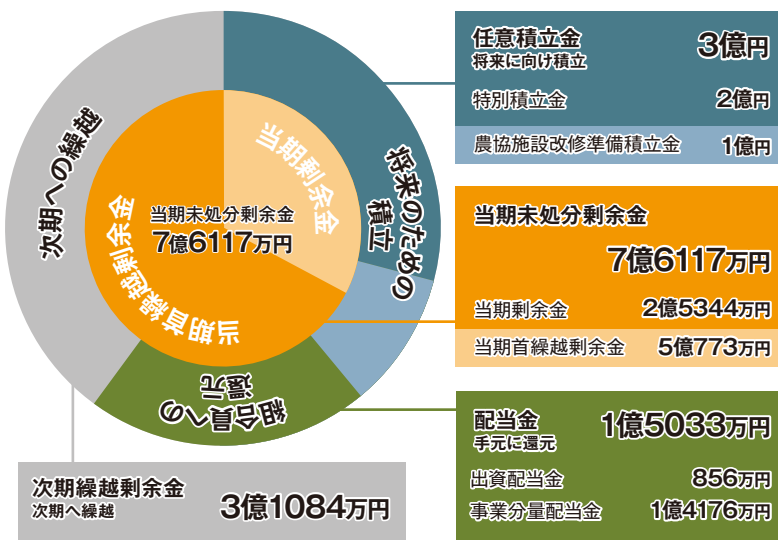
- ◎山本義幸 ○高橋一浩
- 河西佳宏
- 河西眞吾
- 山口とも子

営農経済委員会

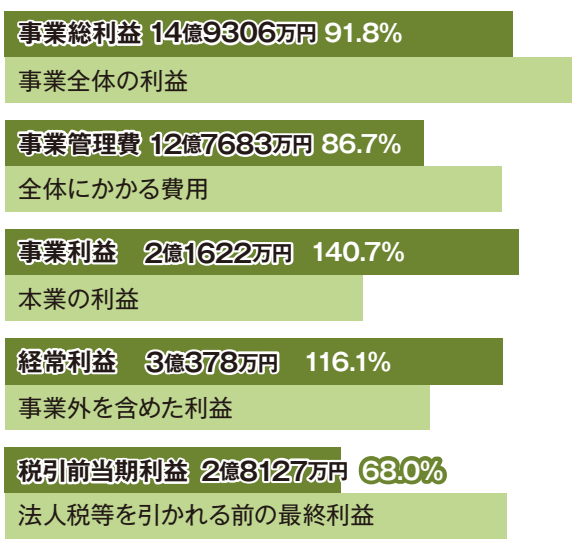
- ◎石川嘉一 ○和田勝美
- 堀尾伸吾
- 大野欣亨
- 山口小夜子

◎委員長
○副委員長

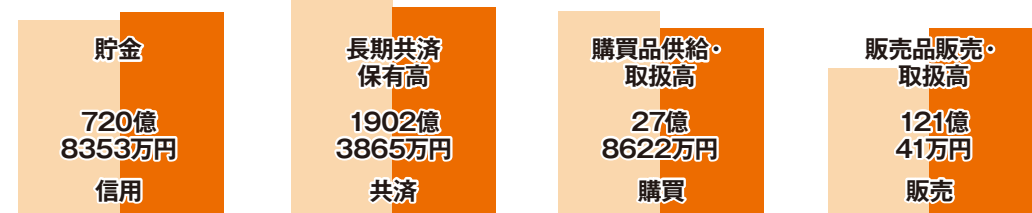
剰余金の行方



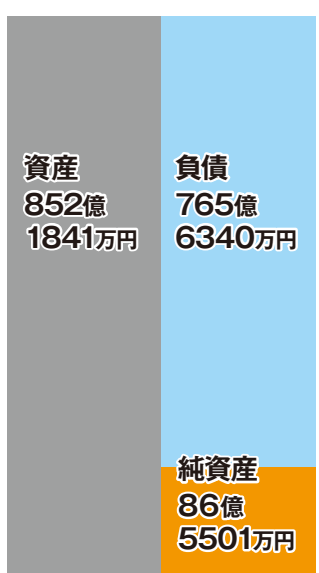
農協の収支



4大事業の主な実績

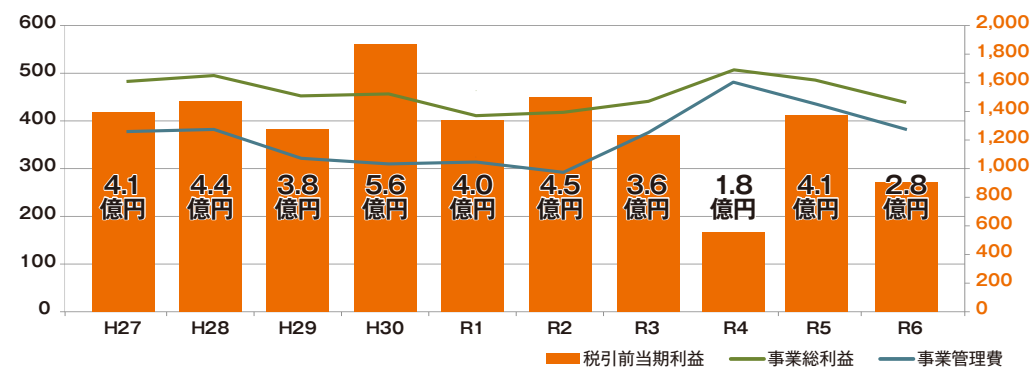


財産の状況 貸借対照表



安定性の指標
自己資本比率 29.75%

過去10年の経営成績推移



利益は2億1622万円となりました。事業利益と事業外損益を合わせた経常利益は3億378万円、税引前当期利益は2億8127万円となりました。

剰余金の行方
令和6年度末における当期末処分剰余金のうち将来的課題を想定する中で3億1084万円を繰越しさせていただきました。

事業分量配当金の継続
事業分量配当金は、貯金700億円達成記念と柑橘で被害の大きかったカメムシ対策の農業について増額させていただき、総額1億4176万円を利用に応じてお戻しさせていただきました。

第十五次5か年計画の最終年度
令和6年度は第十五次5か年計画の最終年度でした。コロナ禍からの回復が引き続き進展する中で、内需を中心とした緩やかな回復基調が見られ、事業実績は当初の計画を上回ることが出来ました。今後、組合員の所得向上と安定的な農協経営・生産量の維持拡大が重要な課題と再認識しました。

令和7年度は新たな第十六次3か年計画「農業と地域の未来をつむぐ協同の力」の初年度になります。目標達成に向けて、さらなる農業振興、経営の健全性に努め、事業計画を確実に実践してまいりますので組合員皆さまのより一層のご利用、ご協力を心よりお願い申し上げます。

※数字はすべて下の位を切り捨て表記しています。



座談会は誰のため？ 私の意見は反映されるの？

7月15日から恒例の支部座談会が始まります。座談会は本来、自分たちの声を事業へ反映し、営農と暮らしを良くしていくための仕組みです。かつて昭和から平成初期には、お茶の間座談会として最大150近い会場で開催された時期もありました。今回、組合長、専務、支部長が顔を合わせ、より良い農協運営のための座談会のあり方について意見を交わしました。「行って意味あるの？」「自分の生活に関係あるの？」と思う方こそ、ぜひ誌面座談会をご一読ください。



井口 義朗

三ヶ日町農業協同組合
代表理事組合長
鉤支部



森田 泰行

三ヶ日町農業協同組合
代表理事専務
平山支部



小野 秀克

上尾奈支部 支部長
(令和6年度農協支部長会 会長)



久米 勉

宇志支部 支部長
(令和6年度農協支部長会 副会長)



若松 昌志

大谷北支部 支部長
(令和6年度農協支部長会 副会長)

※JA綱領…自主、自立、民主的運営といった協同組合の考え方を元に、JAにおいて、誰が、何を目指し、どう行動するか定めた指針。1997年に決議。

そもそも農協支部座談会とは？

小野：私は元々サラリーマンでした。農業をやることになり、座談会の案内が来るまま参加をしました。今のような役を受けるまでは、座談会の目的や役割は正直よくわかっていませんでした。過去から今に至る出席率の低下は、自身の経験からも実感できます。世代交代が進み、組合員が代替わりするほど、認知の格差は広がります。

以前はそんな組合員だったのですが、今は自分たちの農協の報告を聞き、そして意見を伝え、自分たちの農協をよくしていく場だと理解しています。

井口：その通りです。「生の声」を直接伺いできる。農業協同組合としては命ともいえる大切な役割です。「事後報告会になっている」との声もあります。ただ、JA綱領(※)の一つとして「民主的運営」が謳われています。この「民主的運営」の一環として、毎年度の事業と会計を組合員の皆さまに明朗に報告する義務があります。かつて平成3年までは正組合員を対象とした「総会」でご報告していましたが、現在は「総代会」という形に変わりました。そのため、総代会の後に行うこの座談会は、組合員の皆さま全員へご報告する、義務的な側面があることも、ご理解いただければ幸いです。

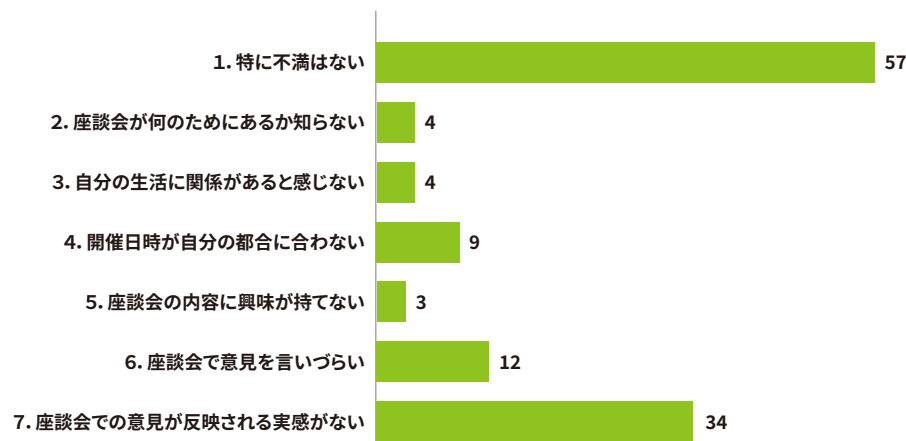
久米：私は職員として30数年農協にお世話になりました。私にとっては、今とこれからの農協を理解し、組合員と役職員がお互いの顔を覚える場でした。出席率の低下は、会場が公民館に集約されて大勢で聞くことになってから顕著です。昔は班長さんの家に集まってお茶の間で膝を突き合わせて話せました。欠席者がいれば班長さんが有線をかけて「おい、今日座談会だぞ」と集める光景に驚きました。厳しい意見も言うけれど、農協も使う「おらの農協」という意識の方が多かったです。世代交代に加え、今は公民館で一斉に開催するので、どうしても「自分一人くらい欠席してもいい啦」という意識になりやすい。それに、大勢の前では発言しにくいため、意見も出にくくなります。

若松：日頃の職員と組合員の距離が少し遠くなってしまったのかもしれない。昔は職員も畑へよく足を運び、何気ない会話の中から本当の意見や要望を聞く機会がありました。人手不足もあって、座談会以外での日常的な接点が減っていることも一因だと思います。

久米：出席率や意見が減っても、確かに組合員は困りません。正確には「すぐに」は困らない。ただ、単独農協がその管内のニーズを把握できなければ、今後の運営が心配です。理解者が減り、意見も反映されない。農協が衰退し、いずれ組合員が困ることになります。だからこそ、農協にも経営努力は続け

支部座談会アンケート結果 回答数=123

令和7年6月3日～5日 JAポータルにて実施



てほしい。価格や品揃えに魅力があれば利用者が増えるはず。まず使ってもらうこと。これが農協の理解者を増やす入口になるはずですから。職員時代、私は座談会に出席すると、組合員の皆さんの顔つきをよく見ました。「穏やか」かな？「険しい」かな？会場の雰囲気や今の農協への満足度を計り知ることができると目を凝らしていました。

今、座談会の報告はビデオばかりが目立ちます。かつては、職員が説明内容をしっかり消化して、自分の言葉で伝えました。そうしたこと、組合員の皆さんも、しっかり聞いてくれたように思います。

井口：ありがとうございます。私も同感です。今回の座談会では職員から口頭で説明する機会を設けました。その方が、職員の目が自分の部署だけでなく農協全体に向く。伝えることで理解が進む。人前でしゃべる経験が積める。今は3割が町外の職員となりました。いい仕事をするためにも、「ひとづくり」の教育の場として活用したいです。

久米：すごくいいですね。その方が組合員も、職員の顔や人柄がよく印象に残ります。

座談会の意見は反映されるのか？

森田：今回のJAポータルアンケートでは「意見を言っても反映されている実感がない」という声が寄せられましたね。いただいたご意見に対しては協議をして、回答集を発行しています。しかし、それが組合員の皆さまに実感として届いていないことが、最大の課題ですね。

組合員の立場からすれば、今年の報告を聞く、意見を伝える前にまず、去年の意見についてこう

いただき、重要なニーズを汲み取っていくことも、これからは不可欠だと思います。

今年の座談会は 何のための座談会なの？

小野：「何かご意見がありますか？」だと漠然としていて、手が上げにくいです。今年の座談会が「何を報告し、どんな意見を聞きたいのか」。明確なテーマを事前に伝えたほうが、組合員の皆さんも考えを準備できますし、テーマに対する意見も集まりやすくなるはずです。

井口：まさに、おっしゃる通りです。座談会の目標と目的を明確にしたいですね。今回伝えたいのは、剰余金の処分、つまり利益の還元部分です。みんなを利用して、みんなで利益を得る、協同組合の仕組みを改めて伝えたいと思っています。県内の10JAのうち、事業に応じた配当を出しているのは、ほぼ三ヶ日町農協だけです。今年も利益の内6割を組合員の皆さまに還元しています。協同組合として必要な分を除いて、組合員に還元するという仕組みは、改めて伝えないと理解されていないと感じ

だったよと説明がほしいはずだと感じています。

小野：自分の出した意見がその後どうなったのか、なぜ採用されなかったのか、その「経過」が見えないと納得しづらい。だから「言ってもムダだ」と感じてしまう。例えば、「こういう理由で今回は見送られました」とか「でもこの部分はできます」と伝える。理由が明確なら、印象はまったく違ふはずです。

井口：農協法などの法律や、予算の制約で、どうしても実現が難しい、本当に無理という意見もあります。その背景を丁寧に説明し、理解を求める努力がもつと必要ですね。

森田：一方で、意見が反映できた好事例は、広報誌やJAポータルでタイムリーに、そしてもつと目立つように発信していきたいですね。

座談会で意見は集まるか？

久米：単純に見ると、少人数にして会場数を増やす。元に戻せば、出席率が上がり、より多くの意見をもらえるとも取れます。ただし、これは班長も職員や理事にもかなりの負担をかけますね。

若松：意見は確かに言いやすい。でも、やっぱり支部ごと、班ごとに農業に関係ない世帯に濃淡があつて、うまくいかない地区がどうしても出てく

ています。

小野：利益の還元の説明は大切です。これは、ごく大事な部分なのに、理解が不十分ですから。

支部組織の役割は、これからますます重要になります。皆さんが無関心になり、活気がなくなれ



昭和45年度の座談会の様子。名前の通りお茶の間で行われていた

る。悩みどころですね。

小野：実際、温度差もありますよ。やる気になってくれる人もいる。一方、こうした地区の役が負担で、なるべく簡略化したいという声もあります。

地域の役を受けたけど、普段は会社勤めでよく知らない。手が回らない。そんな世帯も現実的にあります。そうすると、会場数以外で意見を集約できる方法を考えないと、と思っています。ここで世代のギャップがあつて、若い世代からは「もつとネットの活用を」の意見があり、年配者からは「ついていけない」：なかなか一律にはいきませんね。

森田：まさに、今こうして皆さんと話しているこの場こそが、理想の座談会の形なのかもしれません。膝を交えて、時間の制限もなく、ざつくばらんに話すことができていますから。しかし、現実には多くの制約があります。だからこそ、この限られた条件の中で、いかにして組合員の皆さんの本当の声を引き出し、農協運営へ活かしていくか。その工夫が求められているのだと思います。

若松：そうですね。年に一度の座談会に頼るのではなく、もつと普段から気軽に意見を投稿できる「意見箱」の設置や、今回のJAポータルのアンケートも有効ではないでしょうか。そして、とくに私が大事だと思うのは、農協が持つ「組織の力」です。農事部、農青連、女性部、そしてOB会など、素晴らしいネットワークがあります。そうした方々にご協力

ば、農協全体の活力が失われ、結果として皆さんへの還元も減ります。皆さんの声がきちんと農協に届けば、農協が元気になり、それは巡り巡って必ず自分たちの利益となつて返ってきます。座談会にも参加し、建設的な意見を伝え、「伝えたかいがあつた」となれば、理想です。

森田：それにあたつて、座談会場の雰囲気作りも大事ですね。まだ参加していない方も含めて、気軽に寄れる場にしたいですね。

小野：はい、支部長として心掛けたいです。参加していない方の意見の反映がどんどん難しくなりま

すから。言葉遣いもあまりかしこまらず、時には地元の言葉も交えながら、雰囲気だけでも、かつて皆さんが話してくれた「お茶の間座談会」に近づけた

いですね。

井口：ありがとうございます。組合員の運営参画のあり方を、今一度見直すべき時期にきたと感じる座談会でした。株式会社と違い、協同組合は組合員の皆さんが「利用者」であるだけでなく、「所有者」でもあります。この農協の「あたりまえ」を、改めて皆さまと共有し、理解を深める。そんな支部座談会にしていきたいと考えています。

—— みんなの農協 みんなで利用 みんなの利益 ——



JA組合員の皆さまへ



皆さまこんにちは。JA静岡厚生連遠州病院
院長の大石強です。組合員の皆さまには、日
頃より当院運営に對しまして、格別のご理解
とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、当院は浜松市中心部に位置し、急性期
病棟と回復期リハビリテーション病棟を備え
たケアミックス型の病院であり、急性期治療か
らリハビリ、そして在宅医療を行う地域包括ケ
アシステムの構築を目指しております。とくに
回復期リハビリテーション病棟では常勤医4
名を配置し、質の高いリハビリテーションを提
供することにより、早期の社会復帰に貢献して
おります。在宅医療では、居宅介護支援事業
所・訪問看護ステーション、訪問リハビリテ
ーションを有しており、住み慣れた地域で充実し
た生活が送れるようサポートしております。ま
た、救急医療につきましても力を入れており、
昨年度は救急車の受け入れ件数が5,000
件を突破いたしました。

現在、我が国は少子高齢化に拍車がかかり
2040年には高齢者人口が最大となり、3
人に1人が高齢者という時代を迎えます。県内
の今後の予測人口動態を見ますと、本年度以
降、とくに県西部地区での85歳以上の高齢者
人口の増加が著しいと予測されており、今後、

ますます高齢者救急の需要が高まります。時代
のニーズに合わせて近隣の開業医や施設との
連携を図り、高齢者救急医療に尽力してまい
ります。

令和7年度がスタートいたしました。新型コ
ロナウイルス感染症にてしばらく中断してお
りました地域の皆さまとの交流会も再開され、
2か月に1度の市民公開講座や秋には学術講
演会も開催いたします。市民公開講座では当院
の各部署・各診療科での最近の話題や、とくに
力を入れている分野について講演させていただ
いております。学術講演会では、その時代に合
わせた話題について講演を賜り、懇親会では地
元の皆さまも参加していただき食事をしなが
ら意見交換を行っております。今後とも皆さまに
健康への意識向上や予防に役立つ情報を提供
してまいりますので、JA組合員の皆さまの多
数のご参加をお待ちしております。

最後になりますが、当院の理念『心と心がふ
れあう医療』の実践に向け、常に患者の皆さま
に寄り添った医療を提供することを心掛け、
「遠州病院で受診して本当に良かった」と思っ
ていただけるよう誠心誠意努めてまいります。
今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。



JA 静岡厚生連 遠州病院
病院長 大石 強

／ そもそも「協同組合」ってなんだろう？ ／

原点を学び未来に活かす JAみっかびNEXTフォーラム

企業とお客様の関係と、農協と組合員の関係は根本から違います。2025年は国際協同組合年。座談会を含め、この仕組みを理解し、活用することが、私たちの営農と暮らしを豊かにし、地域を持続させるカギになります。

次世代を見据えて農協と組合員の関係性を改めて
見つめ直そうと、6月10日、三ヶ日町農協は「NEXT
フォーラム」を開催。役員、農青連とOB同志会、女
性部OG会など今と未来を担う組合員ら約90名が参
加しました。

開会にあたり井口義朗組合長は「みんなの組合を、

みんなで利用し、みんなで利益を得ていくのが協同
組合の原点」と述べ、昭和26年に貯払い停止の苦難
の時代を組合員自身の意志で乗り越えた歴史に触
れ、「先人に学びつつ、これからのことはこれからの
人の声で進めたい」と対話を通じた組織運営への
意欲を力強く示しました。

「会社」と何が違う？ 主役は私たち組合員

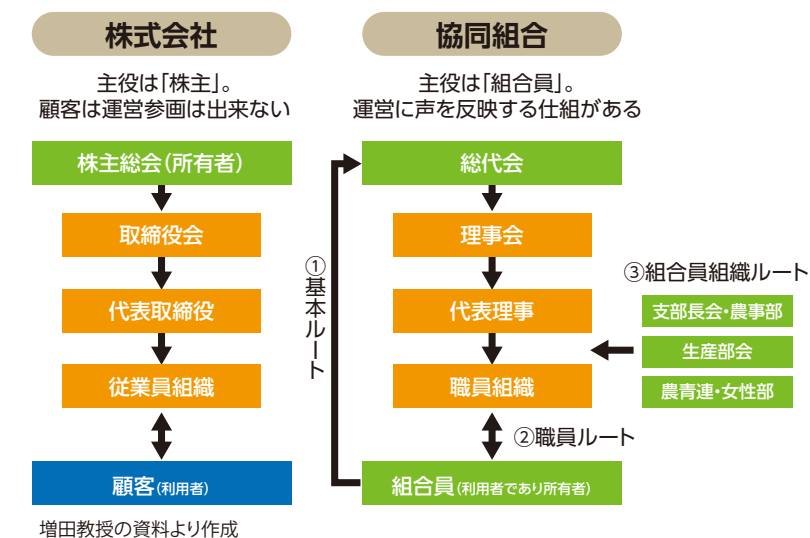
講師には協同組合論の専門家である滋賀県立大学
の増田佳昭名誉教授を招き、株式会社の主役が「株
主」であるのに対し、協同組合の主役は私たち「組
合員」一人ひとりであると、意見の反映や利益還元
の仕組みについて、根本的な違いを学びました。

増田教授は、この組合員が主役となる仕組みこそ
が、トップブランド「三ヶ日みかん」を育て上げた原
動力だと分析。一方で「世代が代わりその理解が薄れ
ると、本来の強みが活かせなくなる」と指摘し、「組
合員と役職員がお互いを理解し、事業に主体的に参
画することが、協同組合が発展する唯一の道だ」と強調
しました。

講演後は意見交換が行われ、アンケートでは参加
者からの意見が寄せられました。今回のフォーラム
を第一回とし、9月と来年2月の全3回の開催を予定
しています。



今後の協同組合のあり方について質問をする参加者



本フォーラムはJA共済の
地域・農業活性化助成金を
活用しています。

フレミズに入った理由は？

同じ支部の同世代ママから誘われた

普段できない、いろいろな体験ができそうで楽しそうだったから
町外から嫁いできたので知り合いが少なく、友達づくりがしたかった
同世代のミカン農家の人と仲良くなりたい、交流ができる場だと思った

農家ではないが、募集のチラシを見て、一人で決めて一人で入った。料理が好きなので興味を持ったことがきっかけで、ほかにもいろいろな体験ができ面白そうだったから。一人ぼっちの心配もあったが、実際に参加すると知り合いが何人もいたし、講座を通じて友達も増えた。これ以降、農協の行事に興味があった

託児があり、自分の時間がつくれると思った



カレッジで友達になった人と一緒に活動できると楽しいから

人とのつながりを大切にしたい

講座を通じて仲良くなった皆に会えることで仕事や子育てだけの日々とは違う時間が過ごせる

農協に行くと言うと、家族が了承してくれるので、農業の合間のいい息抜きになる

同世代が集まるので、子育てなど悩みを共有できるし、共感してもらえる

お互いの顔を見てしゃべるのが楽しみ

農協に集い、仲間と同じものを見て、同じものを食べて、研修などでたまに出かけることが自分の楽しみ！

自主活動では、グループ内に編み物に詳しい人がいて、基礎から丁寧に教えてもらえてよかった。以前は本を見て何となく作っていたが、しっかり技術を覚えることができた
グループ内に料理やお菓子作りの資格をもっている人がいるので、普段とは違うメニューを教してもらい、それを家族に振る舞うことで、生活が豊かになる。自分のレパートリーになかった新しいことを教えてもらえる喜びがある

フレミズ講座で印象深いのは？



地元のフレンチレストランのシェフが講師となり、本格的なキッシュを作ったことも

フレンチレストランのシェフに料理を教えてもらった。とってもおいしかった😊

パティシエにお菓子作りを教えてもらった♡

ウォーキングレッスンで、きれいな歩き方を学んだ

ヨガ！ 普段とは違う（農作業じゃない）動きで、気持ちよかったです。癒しを感じた

浴衣の着付けが楽しかった

アルコールインクアートの作品を家に飾ったら、部屋が明るくなった

花の形のフルーツサンドが可愛くて子供に好評だった

「ママの作品かわいいね」と毎回作ったものを子供が褒めてくれて、自分のテンションが上がる😊

あって良かった！フレミズ講座の託児



3期生以降の託児はすべて「はっぴいまむ」が協力

※2020年、女性部員による託児ボランティア「はっぴいまむ」が結成され、フレミズをサポート

託児があるおかげで講座に集中できたし、楽しめた

一人で自分のことをする時間がほしかったので、とてもありがたかった

どこに行くにも子供と一緒にだったが、フレミズ中は自分の時間がもてた

いろんな子と遊んだりできるので、子供も楽しく通っていた

見てくれる女性部員さんがいっぱいいて、安心感があった（※）

本音トークで盛り上がるフレミズ意見交換会

三ヶ日町農協のフレミズたちは若くて元気がいいと評判です。3つのフレミズ自主活動グループそれぞれが活発に活動している事例は全国的にも珍しく、特徴ある取り組みです。単独農協であり、三ヶ日町という同じ地域でくらす仲間という意識がフレミズたちにも浸透しているからこそできることかもしれません。とはいえ、グループが違つと話す機会も限られ、こういった活動をしているのか？ リーダーは当番制なのか？ などお互い興味を持ちつつ聞けないこともいろいろありました。

フレミズ開講から11年目の今年、意見交換会という形で初めて3グループが揃い、お互いの話に耳を傾けました。初対面の人であっても、年の近い女性同士、「あるある」話で盛り上がり、一気に打ち解けました。お互いの活動へのアドバイスや次回に繋がる前向きな提案、農協や女性部活動への課題など率直な意見も聞かれ、有意義な意見交換会となりました。

参加者からは「3グループが集まるのは初めて、もっといろいろなグループの話を知りたい聞いてみたかった」「自分よりも若い世代や農家ではない人の意見を聞くことができ、とても新鮮だった」「意見として出たフレミズ合同研修などを実現させて、いろいろ違うグループの人と交流する機会が増えると嬉しい」などの感想が挙がりました。



特集3

フレミズ自主活動3グループが初の意見交換会

楽しく、自分らしく、フレッシュミズ活動のすすめ

三ヶ日町農協で世代別講座「フレッシュミズカレッジ（JA女性大学）」がスタートして10年が経ちます。フレッシュミズカレッジの卒業生は約100人を数え、仲間づくりや地域貢献、自分のスキルを磨いたり伝えたりして農協に多くの女性が集うきっかけの場となっています。

今回、フレッシュミズカレッジを卒業し、自主活動グループを立ち上げて活動している皆さんに、フレッシュミズカレッジに参加して良かったこと、どんな自主活動をしているのかなど、自由に話す意見交換会を初めて開催しました。同世代の女性同士、一緒にパンを作りながらお互いの意見に「あるある」と共感したり、違う視点に感心したりとなごやかな雰囲気での交流の場となりました。

「フレッシュミズ」って何？

農協をよりどころに、食や農業に関心のある若い世代の女性（20代～40代前半）が集まって作った組織です。農家・非農家を問わず参加できます。さまざまな年代の女性でつくるJA女性組織の中で、くに若い世代の組織を「フレッシュミズ」（以下、「フレミズ」と省略）と呼びます。



意見交換会では、普段は違うグループで活動するメンバーで混成班を作り、一緒にパン作りを楽しんだ

どんな活動をするの？



活動内容は多彩です。料理やお菓子作り、農業体験、スポーツや手芸といった若い女性に関心が高い内容を中心に、行われ、ときには子供と一緒に活動することもあります。さまざまな活動を通じて、

自分たちのしたいことを、自分たちが主役となり、楽しく交流し、そして学びあっている組織が「フレッシュミズ」です。
三ヶ日町農協では1期2年の「フレッシュミズカレッジ」を平成26年（2014年）からスタートさせました。受講生は2年間で全12回の講座を終えると卒業します。その後は、フレミズ講座を通してできた仲間と自主活動グループを結成し、自分たちのやりたいことをお互いに話し合いながら実現しています。現在は3つの自主活動グループが活動中です。



三ヶ日町農協で活動中のフレミズ3グループ



メンバー10人
4・5期生が所属

昨年フレミズを卒業した5期生を加えた一番新しいグループ



メンバー9人
3期生が所属

料理やスイーツなど講師資格を持つメンバーを中心に定期的に活動



メンバー11人
1・2期生が所属

食農教育活動などフレミズのフロントランナーとして活発な活動を展開



意見交換会に参加したフレミズ生（前列左から）①樋田奈津子 ③堤 香織 ④藤原有紀 ⑤竹平 楓（後列左から）④藤藤恵利香 ③高橋嘉美 ③山崎由樹 ⑤河合菜々 ①長坂房子（敬称略、名前の前の数字は卒業期）



女性部の組織活動の一つの柱でもある食農教育活動については、全グループ高い関心がありまして。とくに平山小学校と協力してさまざまな食農活動を実践している「みかんちゃん」への質問が多く挙がりました。同グループが食農活動を始めたきっかけは、メンバーの樋田奈津子さんが静岡県

のフレミズ代表となり、中央会主催の交流会に参加したこと。他県のフレミズとの交流で刺激を受け、自分の子が小学生だった時期でもあり、サツマイモや大豆、カボチャや落花生などを栽培して収穫、味わうまでの食農教育活動を7年間継続して取り組んでいます。

今後、どんな自主活動をしていきたい？

子供達との食農教育活動は自分たちのグループもやってみたい！！

みんなで体を動かす活動！ 一人ではできないけど、みんなでやれば楽しくできそう

「くみあいだより」で他のグループの活動紹介を見ると参考になる

大量のコロッケや揚げ物、お惣菜作りなど、分担して流れ作業で作れて、晩ごはんにできるなど**大人数ならではのメリットを生かした活動**

コロナ禍でマスクが足りないときマスク作りをしたように、その時期に必要な活動をしていきたい



フレミズから女性部のへの加入は？

加入したよ／

フレミズ活動が楽しく、もっとたくさんの講座に参加したくて**女性部**に加入

女性部は年上の人ばかりかと思っていたら、**意外と若い人もいた年代が違って**女性部の人と料理したりランチしたりして、**いろいろ話せるのが楽しい**

小さい子がいるので参加できる範囲に限られるが、みんな優しく配慮してくれた

年配の人が多い地域で、いろいろ強制されるかと思ったが、意外と大丈夫だった。**もっと早く加入すればよかった**

今後も合同活動してみたい？

フレミズグループで今後も合同活動をしたい！
若い人だけのミニスポーツフェス、本気モードの運動会や**球技大会**など体を動かすイベント

イベントで各グループのハンドメイド品を合同販売

フレミズだけの研修旅行、日帰り研修など



女性部事務局より

初開催となったフレミズ3グループ合同の意見交換会は、「ほかのグループがどんな自主活動をしているのか知りたい」という一人のフレミズ生の要望から実現しました。意見交換会では、小学生など子供と一緒にいう食農活動への意欲が高い人が多いことが分かり、フレミズ合同イベントの提案など具体的な前向きなフレミズの意見を聞くことができました。一人ひとりの主体的な提案をサポートし、実現することでフレミズ活動をさらに発展させていく手助けを感じました。若い女性の活発な活動は、女性部が目指す「元気で豊かな地域づくり」につながるものです。三ヶ日町の地域活性化のためにも、フレミズ生の積極的な活動を今後も期待したいです。

フレミズミズカレッジ6期生は現在15人が受講中。12回の講座の約半数を修了したところです。年度途中からの参加OKなので、興味がある方は女性部事務局へ連絡をお願いします。

TEL 5255・1099



女性部インスタにはフレミズ講座の投稿も！



1期2年の間に、料理・手芸・運動など多彩な体験ができる

フレミズで出会わなかったら、たぶん友達になれなかった人もあるので、いい交流の場

三ヶ日町の知らないことをいろいろ教えてもらえたレカンフラワー、アイシングクッキーなど講座で初めて体験し、**趣味が広がった**。フレミズ講座の一環でお試し体験ができ、知らない世界を知るきっかけになった個人で習い事に通うとお金も時間もかかるが、**身近な農協で、フレミズならではのリーズナブルな価格でいろいろな体験**ができて、いいことづくめ😊💖

フレミズに参加して良かったこと、学んだことは？

知り合いも多く、身近な人と一緒に受講できてリラックスできる

年間の講座計画があるので、楽しい予定ができてわくわくして、次回が待ち遠しかった

自分の**生活のいいアクセント**になり、**気分転換**になっている

自分の心の余裕がもてる

農協のことが分かってきて、身近に感じるようになった。農協の行事などに親子で積極的に参加するようになった

講座で学んだ料理やレシピを家で活かしている

交友関係が広がるきっかけ、**友達が増えた**

同世代ママと友達になり、**わいわい話すことでリフレッシュ**できたし、育児の相談もできた

畑仕事への活力源になっている



フレミズを友達（未加入者）にすすめたい？

すすめたい！／

同世代の人と、わきあいあいと**楽しく活動**できるよ

安く、いろいろな体験が近場でできるよ

どの体験も値段が安くてありがたい（笑）

参加してみると実際は違う。非農家の人でも大丈夫！
ということをもっとPRしたらよいのでは？

すすめたいけど、周囲ではこんな意見も聞くよ／

農協は農業をしている人しか行っちゃダメな所？

何をしているところか知らないから、怖い

閉鎖的な組織というイメージ

知らない、よくわからない所にはなかなか行けないし、申し込めない

など、誘っても来てくれない人もいます



提案

フレミズ世代が考える、生活改善事業とは？

健康によい運動にみんなで取り組む

心の健康も大切！ おしゃべりやストレス発散できるような機会を設けて、気持ちが前向きになるような場があるといい

興味があることは自分で（ネット等）で調べることができる時代だが、**さまざまな「体験」を一緒にすることには価値がある**と思うので、そうした機会を設ける



フレミズはどうありたい？

農協を軸に、自分たちがやりたいことを主体的に行動していく、自主的、積極的に活動する女性の集まりでありたい

R6	10/16	7/5	R6	10/2	7/17	9/21	7/12	R4	10/12	7/13	2/10	R3	10/5	R2	9/18	7/15	9/18	H30	10/15	7/30	9/30	H28	7/7	H28	10/11	7/20	9/11	H28	7/10				
フレッシュミズ6期生		15人が受講中	自主活動グループ「Forまんだりん」5期生卒業		フレッシュミズ5期生		10人でスタート	自主活動グループ「Forまんだりん」結成		4期生卒業		フレッシュミズ4期生		16人でスタート	自主活動グループ「サン3オレンジ」結成		11人	フレッシュミズ3期生		21人でスタート	第3回フレッシュミズのつどい開催		フレッシュミズ2期生		17人でスタート	第2回フレッシュミズのつどい開催		フレッシュミズ1期生		21人でスタート	第1回フレッシュミズのつどい開催		31人参加
10人参加			5期生卒業		フレッシュミズ5期生		12人参加	5人参加		フレッシュミズ4期生		17人参加	フレッシュミズ3期生		21人参加	フレッシュミズ2期生		6人参加	フレッシュミズ1期生		11人参加	フレッシュミズ6期生		15人参加	フレッシュミズ5期生		10人参加	フレッシュミズ4期生		16人参加	フレッシュミズ3期生		21人参加

三ヶ日町農協フレッシュミズヒストリー



有線放送会館の設立と公社電話の普及

昭和35年3月に60回線で開局した有線放送は、翌昭和36年4月の旧東浜名農協との合併を経て増設、共電式160回線となりました。加入戸数2475戸で利用者も大幅に増加。有線放送電話施設も農協本館2階に移転工事が行われました。

この当時の町内の公社電話は各地区に数台、商店等に設置されているだけで、情報が伝わらない時代でした(昭和34年当時の町内の公社電話336台)。そうした時代に有線放送は地域をつなぐ通信連絡網として大きな役割を果たすこととなりました。

「宅内配線が終わった家から試験通話し、第一声が通じたときは小躍りして喜び合った。交換手の呼ぶ『〇番さん』の声に三ヶ日町の、そして農協の新しい幕が切って落とされた気がした」と初代有線放送担当職員が語った通り、この通信連絡網の徹底が組合員教育の推進に大きな役割を果たすこととなりました。

当時は交換手も新しく募集され、15人の応募があるなど、新しい職種、有線放送へかける地域の期待の高さもうかがえます。昭和36年11月の県下有放アナウンサーコンクールでは優勝・準優勝を2人の職員が獲得するなど、昭和35年の開局からハード、ソフト両面で飛躍的に発展していきました。



昭和44年に建設された有線放送会館



交換手が番号を聞き、手差しで繋いでいた



有線放送の心臓部

有線放送の歴史 (1962～1974年)

昭和40年

過去最多、有線交換手12人で交換と放送業務を行う

昭和43年5月～昭和44年2月

総工費1億3千万円をかけて全自動方式に全面改修
回線数450回線、加入戸数2,850戸
有線放送会館の建設に着手、有線放送会館(2F)で業務開始
自動方式となり1回線当たりの個数は8戸に改善(通話時間の制限なく、秘話装置が付き、人に話を聞かれる心配がなくなり加入者に喜ばれた)

昭和46年

公社線接続通話開始。県外接続の許可が下りず、利用価値は半減。
公社電話の加入者数は増加

昭和49年

放送に自動放送装置を導入。昭和35年開局以来24時間体制で交換と放送を行うため続けてきた宿直を廃止
公社線接続廃止



昭和43年頃の有線電話器

※アーカイブ (archive) とは、古い記録やデータを長期的に保管しておく場所や機能を指す言葉です。デジタルアーカイブとは、紙媒体をデジタル化し、長期保管や検索しやすくするためのものです。



クワガタ
すこい
な
ノコギリ
一本

ヒューヒュー
とんだら

クワガタ
カチャカチャ
木のう歩いたら

クワガタ
コチコチ

クワガタすこい

ぼくの詩 わたしの詩

三ヶ日西小学校
2年生
井口七音



職員通信



森田 加央理
金融課
入職23年目

金融課で融資を担当しています。農業融資を通して地域の農業を応援できることに誇りと喜びを感じています。融資は長期契約になるため、お客さまの話をよく聞く「傾聴」を大切にしていきます。金融の経験や知識を生かし、お客さまや職員から頼りにされる職員でいたいです。通勤の車内で、ラジオを通して素敵な音楽に出会ったり小さな幸せを感じる日々です。元気の源は、休日のランチです。

三ヶ日町農協アーカイブは 公式ホームページでも連載!

紙面で紹介しきれなかったアーカイブの写真や、詳しい記事などはJAみっかび公式ホームページで毎月連載していきます。是非こちらもチェックしてみてください。



←有線の提唱者
原茂吉指導員
(中央)



元気にのびのび育ってね!



お気に入りのアリエルの服を着て遊ぶ希心ちゃん

希心ちゃんは三人姉妹の末っ子で、何でも挑戦したがるちょっぴりおてんばな女の子。好物はお母さんが作るマカロニサラダです。家では人形を使ったお母さんごっこなど、姉妹でごっこ遊びをよくします。幼稚園ではブランコが一番のお気に入りです。「(幼稚園の参観会で) パパと一緒に泥遊びをしたことがとっても面白かった」と話してくれました。ディズニープリンセスのアリエルが大好きで、将来はアリエルになりたいそうです。

じいじが大好きな希心ちゃんは、かけっこしたリスーパーによく一緒に買い物に行ったりします。じいじと一緒に家族でプロ野球観戦に出かけたことが楽しかったそうです。

お母さんの恵莉香さんは「思いやりのある子に育ってほしい」と願っています。



お世話をしてくれて頼りになる長女・羽那ちゃん(右)、よく一緒に遊んでくれる次女・未桜ちゃん(左)と一緒に



KIDS

【下尾奈】齋藤さん家の

きこ
希心ちゃん(3)



お父さん:雄一さん
お母さん:恵莉香さん
お祖父さん:外山和稔さん
齋藤裕之さん
お祖母さん:齋藤美幸さん

担い手

【只木】高橋洋和さん(44)

農作業の機械化と省力化で 継続したミカン作りを!

若い頃はサラリーマンをしていた高橋洋和さん。いずれ実家のミカン農家を継ぐという思いを持っており、30歳の節目に就農を決意、ミカン作りをはじめました。

就農して良かったことは、時間の余裕ができたこと。自分のペースで働けて、子供と触れ合う時間も増えたそうです。そして何より、頑張って手をかけて世話をすると、良いミカンができること。ミカンが努力した結果を返してくれることにやりがいを感じています。

高橋さんの目標は「今後も家族で継続してミカンを作

り続けていくこと」です。そのために力を入れているのが、農作業の機械化と省力化。機械が入れる園地づくりを心掛け、誰でも農作業ができるようなミカン園地へと整備等を進めています。

「三ヶ日町は人のつながりが強い地域。自分自身も就農したとき、地元の人達にいろいろ教えてもらい、助けてもらった。こうしたつながりを今後も保っていただける地域であってほしい。また、ミカンを中心に三ヶ日町が盛り上がってくれるとうれしい」と産地への思いを話してくれました。



子供が出場する野球の試合を応援に行くことがリフレッシュになっていると話す高橋さん

<就農予定者へのアドバイス>

若い頃は自分の好きなことをやってほしい。ただ、就農の意志があるなら、早いほうが良い面もある。例えば、若いうちに就農すると近くの先輩やJA職員に素直に質問できるし、周囲もみんな気にかけて教えてくれる。聞けるときにいろいろな人の話を聞いておくことは、将来のミカン作りに役立つと思う。もし、自分が目指すミカン作りがあるなら、若いうちに始めるほうがやりたいことが早く実現できると思います。



三ヶ日みかん 2万6700トン予測



ミカンの着花の状況調べる井口組合長(左)

裏年の作柄、安定生産を目指す

三ヶ日町農協では5月14日に「三ヶ日みかん」の着花状況を調査し、2025年産の収量を、早生8500ト、青島1万8000ト、その他200ト、合計2万6700トと予測しました。

調査は生産者やJA役職員など関係機関の約50人が参加し、5班編成で町内100箇所を調べ、樹勢や花、新梢の発生等を5段階で評価して集計し、その後の検討会で今後の生産対策を協議しました。調査結果によると、バラつきはあるものの全体としては数量の少ない裏年の作柄で、病害虫の発生は少なめでした。

柑橘指導課では「今年の収量も大切だが、近年は猛暑や干ばつなど、気象条件の振れ幅が大きい。天候に負けない樹を作るために基本的な管理を行うことが重要」と呼びかけました。農協では4月下旬に町内25箇所の園地で青空座談会を開き栽培方法を伝えており、6月と9月にも座談会を開催します。

調査に参加した農協の井口義朗組合長は「近年は需給による価格変動が大きい。消費者や生産者のためにも、安定供給できる管理をして、産地の役割を果たしたい」と話しています。

2025年産 三ヶ日みかん予測収量 (5月14日時点)	早生	8,500ト
	青島	18,000ト
	その他	200ト
	合計	26,700ト



6月18日御園の園地で樹冠上部摘果を実演する大野指導員

6/16~25 第2回青空座談会 裏年の手入れ

農協柑橘指導課が第2回青空座談会を町内25会場で行いました。今年はバラつきはあるものの、裏年の傾向です。御園の会場では、同課の大野秀樹指導員が「安定生産のため、適期に適正な摘果を」と呼びかけました。灌水や防除のタイミングについて説明し、熱中症についても注意喚起しました。また、農薬散布の時間帯や風向き、周辺住民への声掛けなど注意事項を守ることが、産地の持続には必要だと伝えました。

5/14

平山小で 校内自転車大会



平山小学校で自転車の安全な乗り方を競う大会「校内自転車大会」が開かれ、自転車部に所属する5、6年生12人が「学科テスト」「安全走行テスト」「技能走行テスト」に挑みました。大会は保護者や教員、下級生児童らが見守る中で行われました。走行テストでは部員一人一人の自転車走行が終わるたびに会場が大きな拍手で包まれました。

優勝は6年の山口大雅さん、2位と実技満点は6年の磯田来生さんが獲得しました。2人とも「全国での優勝を目標に頑張りたい」と話しました。



1月から週3~4回の練習を積み重ねてきた自転車部メンバー



校内自転車大会表彰の様子

5/20

みかんちゃん食農活動



サツマイモを植えた園地にて

活課の職員や若年層研修の職員も炊くくりやマルチ敷きを手伝いました。サツマイモは秋に収穫し、焼き芋にしてみんなで食べる予定です。



苗の挿し方を教えてもらう児童

フレミズ自主活動グループ「みかんちゃん」のメンバー3人が平山小で食農活動をしました。2年生から4年生の児童14人と一緒にサツマイモのつる挿しを行い、やや斜めにして土に挿すとたくさん実がつくなど、コツを伝えました。

5/14

生産資材課で 農薬空ポリ容器等回収



生産者をサポートする生産資材課職員

農協では供給した資材の使用後に出る廃棄物を適切に処分するため農薬や肥料の空容器回収を行っています。

農協全体で取り組むSDGs活動として力を入れている事業です。当日は農薬ポリ容器2万3590本、肥料紙袋4万7369枚、肥料ポリ袋3万7204枚など高い回収実績となりました。年4回の回収日のうち、年度始めとなる5月はハサミやノコギリなど2208丁も回収されました。生産資材課の職員がサポートしながら手際よく回収が行われました。



来店者に粗品を渡す職員

6/13~17

年金感謝デー

農協金融課と都筑支所で3日間にわたり、農協に年金をお振り込みいただいている皆さまに感謝の気持ちを込めて年金感謝デーを開催しました。合計1577人の方が来店し、粗品をプレゼントしました。



5/15~23

女性部 くらしの座談会



ふれあいセンターでは4支部合同で座談会が行われた

女性部くらしの座談会が7日間にわたり町内14会場で行われ、246人出席率82%の女性部員が参加しました。





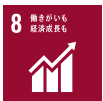
7月下旬には
さらに粒が大きくなり、
糖度も上がる

三ヶ日ぶどう部会に所属する5軒の農家が園地巡回を行いました。今年は春先の気温が低く、例年に比べ成育がやや遅れ気味ですが、出来は上々です。巡回では、各園地の状態を見ながら営農指導員やベテラン生産者がカサかけのタイミングや枝を掃うタイミングなどについてアドバイスしました。

部会長を務める高平政和さんは「昨年よりも部会として出荷できる量が増える。上位等級になる良いブドウをできるだけたくさん出荷したい。今後は日焼けしないよう」

8月8日(金)、9日(土)には、特産物直売所でお得なシャインマスカットフェアを開催します。また、ECサイト限定で、化粧箱入りのギフト注文も受け付けています。三ヶ日町の新たな特産物シャインマスカットを、旬の時期にぜひ味わってみてください。

6/17 間もなく、シャインマスカットシーズン！ 三ヶ日ぶどう部会が園地巡回



柑橘指導員がサポートし、
空調服の着心地を体験する小学生



さすが三ヶ日町の小学生、ミカンのクイズでは高い正答率！

5/27 未来につなぐ、ミカンの出前授業 柑橘指導員が小学生にミカンの栽培管理を伝える

三ヶ日西小学校では3年生の総合の時間に地元のミカンについて学び、栽培も行うことが恒例となつています。5月27日には農協柑橘指導課の佐藤祥指導員、近藤海斗指導員の2人が同小を訪れ、3年生児童42人を前に三ヶ日みかんの出前授業を行い、ミカン園地では摘果などの農作業を教えました。指導員がミカン栽培の一年をクイズを織り交ぜて伝えると、多くの質問が挙がるなど児童は熱心に授業に参加しました。まだ小さなミカンをカットし、断面を観察すると「キウイみたいに粒がいっぱいある」「もうミカンの匂いがする」など素直な感想が飛び交っていました。夏の作業に便利な空調服の紹介では、児童らは興味津々で着心地を体験していました。

近藤指導員は「この授業が楽しい記憶として残り、ミカンに興味を持つ子が増えたらうれしい。子供たちが地元で身近なミカンについて学ぶ授業は、産地の未来につながる大切な取り組みで、今後も続いてほしい」と話しました。

6/7 農機センター・オートパーク 組合員生活課合同展示会



三ヶ日町農協の農機センター・オートパーク・組合員生活課が合同展示会を柑橘選果場で開催しました。農機センターでは運搬機、草刈り機など、オートパークでは話題の最新車を中心に展示、試乗会も行われました。組合員生活課は仮設トイレの展示を行い、来場者の関心を集めました。休日とあつて会場には、家族連れの姿も目立ちました。特販課のキッチンカー「ミカスタ」も出店し、「三ヶ日みかんソフトクリーム」を来場者に無料配布しました。



来場者は豊富に展示された新型の農機や車を見て回った

令和7年度サマーフェスティバル開催決定！

～農協と地域をアツく結ぶ、夏の一大イベント！～

開催日 8月16日(土) **会場** プレオ前駐車場
時間 午後4時00分～午後8時00分(催事受付締切 午後7時30分)

アトラクション・ゲーム

- ★ウォータースプラッシュ
- ★タイヤボウリング
- ★金魚すくい
- ★ダーツゲーム
- ★バトントワリングショー

飲食コーナー

- 三ヶ日牛サイコロステーキ
- 三ヶ日豚フランクフルト
- ポテト、生ビール
- 三ヶ日みかんソフトクリーム等

祭 催事内容

農青連・女性部コーナー

★スーパーボールすくい、かき氷、ミニゲームetc...

などなど、楽しい催しがいっぱい！
ぜひご家族、お友達と一緒に出かけください！！

※詳細はくみあいだよりに同封のチラシをご覧ください。※告知に使用した写真はすべて過去のサマーフェスティバルのものです。
※当日撮影した皆さまの様子を広報誌などへ掲載させていただく場合がありますので、ご了承ください。
※当日は会場準備等のためプレオ前駐車場は使用できません。農協南側駐車場をご利用ください。
※イベントは雨天決行、荒天中止となります。ご了承ください。

6/2 農薬の安全使用を 講習会で呼びかけ



講習会は午前と午後の2回開催

特販課農産センターが農薬安全使用講習会を開きました。対象は直売所に農産物を出荷する生産者、ふれあい市出荷者の会員です。講師は農薬メーカー・クミアイ化学工業の担当者で、防除効果を高めるために、適切な薬剤選択、散布タイミング、散布技術が大切と話しました。産地の信頼に関わる残留農薬違反を起さないためにも農薬の正しい知識を持ち、農薬ラベルの内容を遵守し、日頃から対策を行う重要性を改めて認識する講習会となりました。

6/4～8 初盆展示予約会



多彩な引き出物を展示した会場

組合員生活課葬祭センターが6月4日から8日の5日間、ふれあいセンター2階で初盆展示予約会を開催し、多くの方が来場しました。葬祭センターの職員が会場内を案内し、初盆を円滑に執り行えるよう、お飾りや引き出物、盆供返しなどについて説明しながら提案を行いました。

組合員資格確認のお願い

下記の場合、定款第14条(※)の定めるところにより、お手続きが必要になります。

- 名義を変更した
- お届けのご住所に変更があった
- 組合員資格区分が変動した

【組合員資格区分】

正組合員	耕作農地が10a以上ある者、 又は農業に90日以上従事する者
准組合員	上記以外の者等(町内在住者に限る)

- 組合員資格を喪失した(死亡、町外転出等)

組合員資格に変動があった場合はお手数ですが、早急に申請手続きをしていただきますようお願い申し上げます。詳しくは総務課までお問い合わせください。

(※)定款第14条
組合員は(中略)、組合員たる資格を失い若しくはその資格に変動があったときは、直ちにその旨を書面でこの組合に届け出なければならない。

●総務課

出資配当金・特別配当金通知書について

今月のくみあい日より一緒に出資配当金・特別配当金通知書を配付させていただきます。なお、令和6年度にカメムシ駆除に必要な農薬を購入された組合員の皆さまにつきましては、通知書を2通配付させていただきます。

●総務課

チップーレンタル事業終了のお知らせ

9月30日(火)をもちまして、チップーのレンタル事業を終了させていただきます。ご利用ありがとうございました。

●生産資材課 農機センター

サマーフェスティバル開催

サマーフェスティバルを開催します。

と き 8月16日(土)

ところ プレオみっかび前

※イベント内容の詳細はP19をご覧ください

●総務課

支部座談会について

令和7年度農協支部座談会を下記日程のとおり、夜7時30分からそれぞれの会場で行います。詳細は案内文書でご確認ください。

開催日	支部	地区	会場
15日(火)	南平		B&G海洋センター1階会議室
16日(水)	宇志		宇志公民館
	三ヶ日	三ヶ日6区	ふれあいセンター2階第1研修室
	只木	1組・2組	集落センター1階 第1研修室
17日(木)	只木	4組・5組	集落センター2階 第3研修室
	只木	6組・7組	集落センター1階 第1研修室
	只木	8組・9組	集落センター2階 第3研修室
18日(金)	本坂		本坂公民館
	釣		釣公民館
	野地		野地公民館
22日(火)	西平		西平会館
	駒場		駒場自治会館
	大福寺		大福寺コミュニティセンター
23日(水)	佐久米		佐久米公民館
	平山		平山公民館
	下尾奈		下尾奈集落センター
24日(木)	日比沢		日比沢集落センター
	上尾奈		上尾奈コミュニティセンター
	北平		北平公民館
25日(金)	御菌		御菌公民館
	岡本	岡本6組	岡本公民館
	分寸	分寸西、分寸東	分寸公民館
28日(月)	摩訶耶		摩訶耶公民館
	大谷	大谷北、大谷南	大谷公民館
	新田		新田公民館
28日(月)	鶴代		鶴代公民館
	長根	長根下	長根防災センター1階
	長根	長根原	長根防災センター2階
28日(月)	大崎	大崎東、南、西	大崎自治会館
	津々崎		津々崎コミュニティセンター

●三ヶ日町農協

葬儀、法事、墓石等のご相談について

葬祭センターでは、随時ご相談を受け付けています。些細なことでも構いませんので、気軽にお声掛けください。なお、ご来店前に連絡をいただくとありがたいです。

と ころ ふれあいセンター 1階

お問い合わせ TEL525-1017

●組合員生活課 葬祭センター

7月～9月の管理

仕上げに向けて計画的な摘果を

1. 防除

令和7年柑橘病害虫防除暦を参照にして、計画的に防除を行ってください。

2. 着果管理～摘果スケジュール～

系統	時期	6月	7月	8月	9月	10月	11月
極早生		粗摘果	20枚～25枚	20枚～25枚			
北原早生		樹冠上部摘果		20枚～25枚	25枚～30枚		
早生		樹冠上部摘果	20枚～25枚		25枚～30枚		
青島		樹冠上部摘果		30枚～35枚	30枚～35枚		
		隔年結果是正・樹勢維持		仕上げ摘果		樹上選果	

来年の着果量が心配されますので、着果の多い樹から着果量に応じて早めに摘果に入るようにしてください。

●間引き摘果

7月20日頃、果実が下を向いてから、間引き摘果を開始します。樹勢や適正葉果比を確認しながら、出荷基準に合わない果実を間引くように、粗摘果を行います。目安は1結果母枝に1～2果、枝の長さでは10～15cmに1果になるよう枝の強さや肥大を見ながら回数等を調整し、重なった果実や小玉果、スレ果を間引く摘果を実施してください。

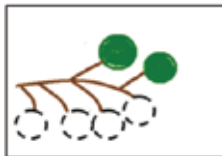
●仕上げ摘果

早生では基本的に8～9月の摘果は、階級や果実品質を揃えることを目的とした仕上げ摘果になります。風スレ果や小玉果、粗皮果、外観不良果などの出荷基準に満たない果実を徹底的に落とし適正葉果比に合わせていきましょう。

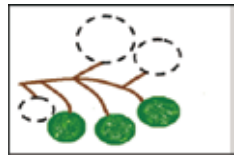
葉果比の目安(収穫時)

早生	葉数:25～30枚に1果
青島	葉数:30～35枚に1果

肥大の悪い樹の
着果例



樹勢の良い樹は
着果数を増やして調整



＜徹底して落とす果実＞

風スレ果、小玉果、粗皮果、腰高果、病害虫被害果、外観不良果など、出荷基準に満たない果実



3. マルチ資材の被覆

近年、秋雨による品質・体質低下が多い傾向となっています。マルチ被覆を行い、着色促進・果実内容の向上に努めましょう。7月は果実肥大期になりますので、過度な乾燥には注意して、樹の状態を見て必要であれば灌水を実施してください。※マルチ実施園では収穫後灌水、葉面液肥を散布して樹勢の回復をしてください。

品種	被覆時期
早生	7月上旬～8月下旬(土壌水分があるときに実施する)
青島	8月上旬～9月上旬(秋雨前に実施する)

4. 灌水の実施

梅雨明け後、1週間程度降雨がない場合や降雨予想がない場合は、早めに灌水を実施し、樹勢の維持に努めてください。

目的	灌水量目安(10aあたり)
発芽促進・樹勢維持	8～10トン
果実内容重視	3～4トン
マルチの場合	2～3トン



柑橘指導課
佐野 典子

6/20 理事会提出議案

- (1)令和6年度監事決算監査回答について
- (2)令和6年度業務報告書及び連結業務報告書について
- (3)夏期手当支給について
- (4)固定資産取得(プレオ空調機更新工事)完成検査について
- (5)農産物検査業務規程の一部変更について

5/27 理事会提出議案

- (1)令和6年度決算関係書類及び部門別損益計算書の承認について
- (2)「自己資本比率算出要領」の全部改正について
- (3)第64回通常総代会議案等について
- (4)「令和5年金融商品取引法等の一部を改正する法律」の施行に伴う規程の一部改正について
- (5)令和7年度農協支部座談会について

親元就農セミナーについて

営農支援課では、三ヶ日みかん産地の維持拡大を目的とした「親元就農セミナー」を下記の日程で開催します。近い将来、親元就農を予定されている方などのご参加をお待ちしております。

と き 9月5日(金)
13:30～

と ころ 営農センター 大会議室



昨年の様子

持ち物／筆記用具

●営農支援課

「安全をつなげて広げて 事故ゼロへ」 ～夏の交通安全県民運動が実施されます～

期 間 7月11日(金)～7月20日(日)
までの10日間

交通安全運動の重点は以下の3つです。

- 1 こどもと高齢者の交通事故防止
- 2 自転車と二輪車の安全利用の推進
- 3 飲酒運転等危険運転の根絶



●静岡県農業協同組合中央会、
静岡県農協暴力防犯対策協議会

直売所だより by特販課

特産物直売所から旬な果物の販売のお知らせです。山梨県「JAフルーツ山梨」から仕入れた桃を数量限定で販売します。昼夜の寒暖



差によって1玉1玉においしさがギュッと凝縮しています。目利きのプロも唸るプレミアムな逸品を、この機会に是非お買い求めください。

※販売は特産物直売所のみです。
特産センターや電話、ネットでの購入はできません。
※桃は無くなり次第終了です。画像はイメージです。

と き 7月25日(金)以降販売開始を予定
※生育状況により変更の可能性があります。
詳しくは直売所へお問い合わせください

と ころ 特産物直売所(9:00～17:00)
※水曜日定休

お問い合わせ JAみっかび 特産物直売所
TEL: 053-525-1040

特産物フェア

特産物フェアを開催します。

期 間

○シャインマスカットフェア
8月8日(金)、9日(土)

○イチジクフェア
8月12日(火)、9月14日(日)

時 間 9:00～

と ころ 特産物直売所

「ミカちゃんファーマーズ」

※無くなり次第終了します。天候不順等により十分な数が確保できない場合がありますので、ご了承ください。

●特販課 農産センター

夏の贈り物にいかがですか

特産物直売所でお中元コーナーを開設しています。三ヶ日みかんをたっぷり使った、オリジナル商品です。大切な方への贈り物にぜひご活用ください。HPにカタログも掲載しています。

●特販課

金融なんでも相談会

と き 9月6日(土)9:00～15:00

と ころ 本所 金融課

ローン・相続などのご相談、各種手続きをお取り扱いします。平日、お仕事などでなかなか来店できない方は、この機会にぜひご利用ください。ただし、現金などお取り扱いできない業務もありますのでご了承ください。

●金融課・都筑支所

タイヤ・オイル・バッテリー 特価キャンペーン実施中

期間中特別価格で提供しております。

期 間 ～7月30日(水)

土日祝日は除く、平日のみ

●オートパーク

オイル特価キャンペーン

三ヶ日SSにてオイル特価キャンペーン実施中

期 間 ～7月30日(水)

●三農サービス㈱

自賠責共済満期のご案内について

システムの変更に伴い、2025年1月より自賠責共済の満期をご案内させていただくことになりました。これまで自賠責共済の満期について個別のご案内はしていませんでしたが、今後は、満期が近づいた方へ、更新のご案内を郵送でお知らせします。万が一に備え、自賠責共済の継続をお願いします。なお、車検が必要な車両(自家用車など)は、整備工場やディーラー等で継続手続きが行われるため、共済窓口での手続きは不要です。不明点はお気軽に共済窓口までお問い合わせください。

※原動機付自転車・軽二輪自動車・小型特殊自動車は共済期間終了日の1ヵ月前からの受付です。



●共済課

農協観光旅行相談窓口のご案内

【8月・9月の予定】

と き 毎週木曜日(8月14日を除く)
12:30～15:30

と ころ ふれあいセンター 1階

※団体旅行のみの取り扱いとなります

●組合員生活課

静岡県のJA オープン・カンパニー

JAの概要や働く魅力を、学生・求職者に発信するイベントが開催されます!

対 象 学生(大学・短大・専門・高校)・求職者等
開催日時 8月27日(水)13:30～15:30
開催場所 M20ビル 4階ホール
(静岡県静岡市葵区御幸町20)

内 容 JAの説明／アトラクション／座談会
定 員 100名(※先着順)
申込方法 申込フォームによる申込→
申込期限 8月25日(月)17:00



●静岡県農業協同組合中央会